

平成 28 年度第 2 回庄原市教頭研修会

平成 28 年 12 月 9 日 (金) 庄原市民会館

庄原市教育行政施策の方針を踏まえ、今日的教育課題の解決に向けた方策や組織的な学校運営のための教頭の果たすべき役割について理解することを通して、自校の学校運営のより一層の充実と改善に資すること、特に、第 2 回の本研修会は、「学びの変革」アクション・プランを踏まえた取組を加速させ、平成 30 年度の全県展開に向けて、本年度及び来年度、各校で取り組むべきことを明確にすることを目的として実施しました。

【講話】『「学びの変革」アクション・プランを踏まえた取組の加速に向けて』

広島県立教育センター 教科教育部長 青本 眞二

次期学習指導要領の目指す方向性を踏まえ、育成すべき資質・能力を 3 つの柱から捉えること、教科等を学ぶ本質的な意義、各教科の「見方・考え方」を育成する必要性と授業改善の視点、各学校の「学びの変革」を推進するためのカリキュラムマネジメントの具体的な手法などについて学びました。



【講話・協議】『「主体的な学びを促す授業づくり」平成 30 年度全県展開に向けて』

庄原市教育委員会教育指導課 指導係長兼主任指導主事 東 直美



講話を踏まえ、「学びの変革」平成 30 年度全県展開に向けて、本年度 3 学期中に取り組むこと、来年度取り組むことについて確認しました。

また、各学校における「主体的な学び」に向けた取組を交流し、自校の取組の参考にしました。

【参加者アンケートから】

○参考になったこと

- ・「学びの変革」アクション・プランと次期学習指導要領との関連。
- ・次期学習指導要領の 3 つの柱を手掛かりに、学校教育目標や資質・能力を見直すこと。
- ・各教科の「見方・考え方」を明らかにし、「見方・考え方」を育成する授業にすること。
- ・授業改善の視点として、課題発見・解決学習において意味ある「予想」を立てさせること。

○3 学期に取り組むこと

- ・資質・能力の再考とそれらを育成する教科等や学校行事になっているかということを見直す。
- ・資質・能力を再検討し、総合的な学習の時間を柱としたカリキュラムを作成する。
- ・主体的な学びにするための各教科の具体的な工夫を明確にする（深い学びにする）。
- ・資質・能力の評価の方法について検討する（先進校に学ぶ）。

○来年度取り組むこと

- ・日々の授業において、「見方・考え方」の育成につながる授業づくりを進める。
- ・日々の授業が主体的な学びになっているか、教育活動全体が資質・能力を育成するものになっているかを評価、検討していく。
- ・見直したカリキュラムを実践し、更に改善を加える。